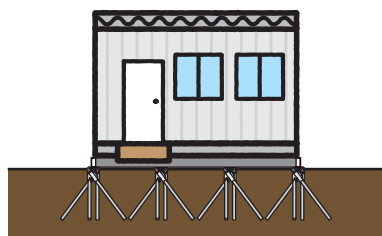
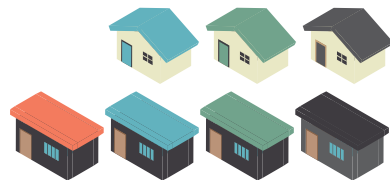




① 応急仮設住宅で 使用して…



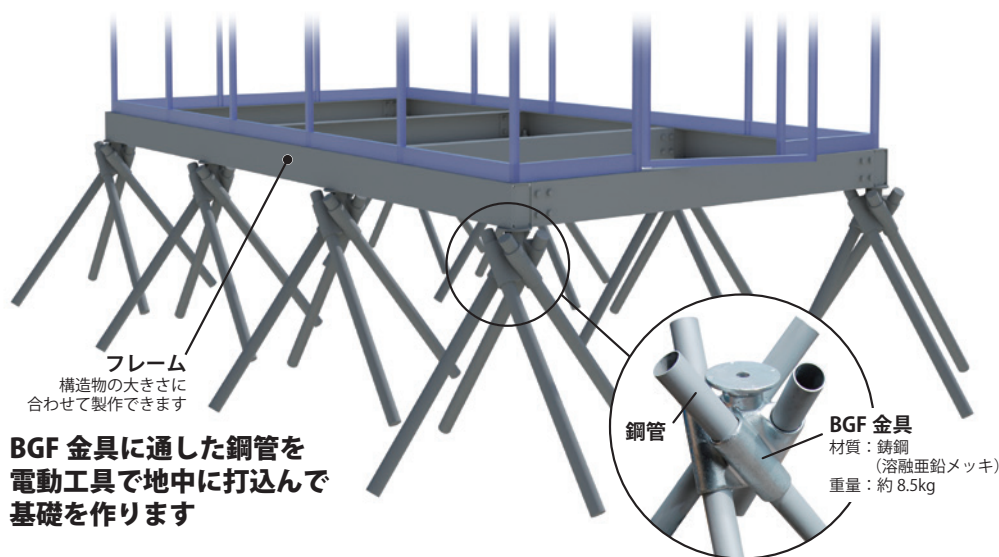
② 災害公営住宅や 復興施設で 再利用する



— 仮設で使った基礎を復興の基礎へ —

基礎を使い捨てない「復興基礎循環モデル」

応急仮設住宅の建設では、短期間で施工が求められる一方、役目を終えた後には撤去する必要があります。ラスコジャパンでは、撤去・再利用が可能な簡易基礎「スパイクフレーム工法」を活用し、応急仮設住宅で使用した基礎を災害公営住宅や復興施設へ再利用する「復興基礎循環モデル」を構想しています。基礎を「仮設だから使い捨てる」のではなく、復旧から復興へ引き継ぎ資産として捉えることで、廃棄物の削減、資材の有効活用、復興時の迅速な施設設備を目指します。



スパイクフレーム使用例 コンテナハウスや木製小屋などに利用されています



施工手順 スマートフォンから 施工動画をスクリーン



スパイクフレームは「建築技術性能証明」を取得した BGF 工法を利用した基礎工法で「建築確認申請」ができます



ラスコジャパンの基礎で
『災害用設備』を開発しませんか？
新基礎工法も続々開発中です！

防犯カメラやアンテナなどの支柱に
ご利用いただける基礎工法もあります。



自然環境と未来のための基礎工法を開発する



株式会社ラスコジャパン

本社 〒673-0403 兵庫県三木市末広3丁目25-25
東京支社 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-14住生新横浜第2ビル6F
東北事務所 〒996-0031 山形県新庄市末広町14-62

TEL 0794-86-0081 FAX 0794-86-2806
TEL 045-534-6814 FAX 045-534-6782
TEL 0233-32-1575 FAX 0233-32-1576

www.lasco.jp